

ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-mate II) 機器取扱説明会

質量分析は、有機化合物の構造推定に欠かせない分析法です。

ガスクロマトグラフ質量分析装置 (JMS-GC mate II) は、質量の測定範囲は m/z が1,000まで、分解能は3,000で、精密質量測定 (小数点以下4桁) が可能です。

試料の導入は、ガスクロマトグラフィーによる方法 (GC-MS) とイオン源に直接導入する方法 (DI) のどちらかを選ぶことができます。試料のイオン化は、電子によるイオン化法 (EI)、試薬ガスを用いる化学イオン化法 (CI)、Fast Atom Bombardment (FAB) があります。今回の説明会では、ユーザーの要望の高かった測定について、基本的な使い方が分かる内容となっております。

【日時】 2019/3/28 (木)

10:00~12:00 EIモードによる精密質量測定

13:30~15:30 FABモードによる精密質量測定

【場所】 佐賀大学理工学部9号館1階109室

【講師】 山田 高弘 氏(日本電子株式会社)

